



〈ごあいさつ〉 皆さま、お元気でしょうか。つむぎ便りの発行が久しぶりになってしまいました。夏号をボリュームたっぷりを用意していたのですが、急遽第 50 回衆議院選挙が決まり発行が難しくなってしまう申し訳ありませんでした。無事に衆議院選挙も終わり、地元からは木原誠二代議員を選出することが出来ました。現在は、自民党 4 役でもある選挙対策委員長としてご活躍されています。地元選出唯一の衆議院議員として、十分に連携をとって、一緒に地元に貢献していければと思います。なお、発行が叶わなかった夏号に関しては「小林みおホームページ」に UP しておりますので、是非ご覧ください。

東村山市議会議員 小林美緒



2024
12 月
議会報告

12 月議会は、例年市長から提出される議案も少いことがほとんどですが、今定例会は初日に報告 1 本、議案が 19 本。最終日には補正予算の議案が 1 本と忙しい定例会になりました。主だったものとしては、公契約条例の制定や、消防団第 2・7 分団の消防ポンプ車の購入について、市立児童館育成室等の民営化に伴う指定管理者の指定などでした。一般質問のテーマは「令和 7 年度の産業まつりについて」「SEL と SDGs—EQ—を高める東村山の未来—」としました。

1. 「令和 7 年度の産業まつりについて」

Q1 令和 6 年度の産業まつりで市長が挨拶の中で「令和 7 年度の産業まつりはこの場所（市役所前）では開催しない」と言った趣旨のご発言をされたということで、市内各団体から問い合わせを多くもらっているが、一体どうなるのか？という思いで質問した。実施の検討状況はどうなっているか？

A 実行委委員会と協議中だが、スポーツセンターでの開催の可能性を検討している。

Q2 スポセンと新しく出来た JA の駐車場を使用する予定か？交通管理者も関わってくると思うが、道路使用許可はどの範囲でとる予定か？木曜、金曜と準備に使うためにスポセンを封鎖した場合、市民サービスの視点に立った場合、営業はどうするのか？

A 駐車場は使用する予定。道路使用許可はスポセン手前の和菓子屋さんから秋津方面の一つ目、もしくは二つ目の信号までかと検討中。

Q3 開催場所が変わると近隣のご理解も含めてご苦勞があるかと思うが、市長はどう考えるのか何う。

A まだ決定はしていない。現在の場所で開催できるのであれば、そのほうが良いが、色々と実行委員会で協議を重ねて決めていく。また、2 日間の開催に努める。

これまで、土日開催の産業まつりの場合は市役所の駐車場を木曜日から封鎖し準備を行っていました。その間の市役所利用者の駐車場は旧 13 都営跡地（東村山消防署本町出張所）を代替地として使用していましたが、小平にある合同庁舎の建替えに伴いそこに仮庁舎が設置されることになりました。その為、利用者の駐車場確保が困難になるということで産業まつりの開催場所の検討がされているようです。



2. 「SEL と SDGs—EQ—を高める東村山の未来—」

昨今、教育現場やビジネスで注目されている「EQ」。端的にいうと「自分や相手の感情を把握した上で、うまくコントロールしたり表現できたりする能力」は、人生で学問的、専門的、社会的、対人的に成功を遂げる上で、IQ と同じくらい重要であり、訓練することで後天的に高められると言われています。複雑化する社会課題が散見される今、全てにおいて解決の糸口になると考え様々な視点で「EQ」を意識し施策展開することが大事と考え質問を通して提案しました。

Q1 教育的視点から見て、10 年ぶりに改定された新学習指導要領においてその必要性が明記されている。この最大のテーマ「生きる力」を育むための 3 つの柱のうち「学びに向かう力、人間性」に位置づくが非認知能力を育む事業などの当市での事例はあるか？

A 探究的授業や討論、プレゼンなどを行なっている。

Q2 それはこれまでも行なってきたことを今の新学習指導要領に当てはめているだけなのではないか？

A そうなるが、改めて非認知能力が大事だということは理解できたので意識していきたい。

Q3 家庭で子どもに向き合う親の視点から、子育ての大変さや、家族間での言い争いなどストレスは虐待や孤立などに繋がりがかねない。子どもと同じ時間を過ごす親の心が健康である必要があるがサポートする事業はあるか。

A ゆりかご、妊婦面接、こんにちは赤ちゃん事業など様々な事業を行なっている。

Q4 相談先のカウンセリングを受けたその先の機関が結局心療内科になると、ハードルが高いので、悩みを共感できたり話せたりする場に EQ コーチがいるようなママカフェなどの開催で、自分を客観的に語れたり、見つめたりできる空間を提供できる事業などの提供をお願いしたい。また、2016 年、2020 年のダボス会議でも人材教育の視点から求められるスキルとして EQ が上位でランキングしている。メンタルヘルス対策としても有効であるが職員研修で取り入れているか？

A 多くの研修を行なっているが EQ の研修は行っていない。

東村山市第 5 次総合計画では大きなテーマを「SDGs」に絞って進めてきている。SEL 教育や EQ を高める取り組みは市内全体のウェルビーイングを向上することに繋がる。SDGs 未来都市に選定されている東村山がもう一歩先に進むために貢献できることの一つとして、今後の事業に取り入れていってほしいと思います。



▲HICSEA カップ開催。東村山サッカー協会会長として開会式でご挨拶させていただきました。



◀東村山ワンニャンマッチングイベント譲渡会が開催されました。



市役所前では最後の産業まつりに久米川連で出演させていただきました▶



10 月 15 日公示 10 月 27 日投開票の第 50 回衆議院議員総選挙では、大きな争点が政策論ではなく、政治とカネの問題となり国民の政治に対する不信感が募った選挙となりました。市議会議員という地方議員の立場としては、日々地元で地道に活動していることを蔑ろにされたような気分になり当然怒り心頭。普段から自民党を支持して下さっている支援者の皆様にも大変申し訳ない気持ちで選挙戦を闘うこととなりました。結果として、自民党は大幅な議席減で与党として過半数に届きませんでした。今回の結果を真摯に受け止め、信頼回復に努めなければなりません。少数与党として活動することは、誰か他の力を借りていく必要があります。これは、財源がかさんでいくことに直結するのです。現在、東村山市議会でも同様のことが起きています。仮に、市長提出議案が通らないなどという事態が起きれば、市民生活の質は保証できません。6 月には東京都議会議員選挙、7 月には参議院選挙が予定されています。いま一度省察し、国民のための政治は「やっぱり自民党にしか任せられない」と国民の皆様が再び実感していただけよう私も努めて参ります。

多磨全生園、労働条件審査について質問しました。

3月議会では翌年の予算を決める予算委員会があります。5日間に渡り、正副議長を除く23名で議論を進める大事な委員会です。今回は平成13年に制度創設された臨時財政対策債（臨時財政対策債とは、国が地方公共団体に交付する地方交付税の財源不足に対処するため、その不足する金額の一部を一旦地方公共団体に借金をしてまかなっておく市債のこと）が皆減となり緊張感のある予算編成でしたが、結果、税収増や税連動交付金などの伸びで、令和6年度比、一般財源総額11億6千万の増となりました。人口規模などに変化はないものの、コロナ禍以降国や都の交付金の増額や、人件費や物価高、DXや授業に係るタブレットなど、恒久的に続けていくことに関しては今後も財源負担は膨らむ為、これまでの傾向とは異なり、しばらく予算規模は大きくなるが見込まれます。経済動向に注視していく必要があります。その他、市長提出議案は商工業振興条例や高校生の医療費の助成に関するもの、農業委員会委員の任命など、合計14件でした。

1. 日本魅力を最大限に！東村山として出来ること。

一般質問のテーマは「日本魅力を最大限に！東村山として出来ること。」と題して市内のインバウンド、観光振興、市内商品の輸出に向けての規制緩和などについて問うてきました。2020年東京オリパラの前は、私自身も姉妹都市締結や事前キャンプ誘致に力を入れており、当時は自ら何度も中国まで行き様々な施策を進めてきたところです。中国の卓球選手が事前キャンプに来てくれることが決定し、観光施策も大いに検討していたところへ全国的なパンデミックが起き、あえなく断念。その後は自身も意気消沈してしまい、なかなか手をつけられませんでした。久々に夢のある一般質問をすることができたと思います。

Q1 過去、外から人を呼び込むという視点の取り組みは何をしたか。

A オリパラの際は、観光案内の冊子や電子版、多言語版などを作ってきた。多言語対応案内のサインの充実や、インフルエンサーを活用しての呼び込み、グルメの発信などを行った。

Q2 観光目的で東村山に来ている人（国内外）の情報は市役所に入っているか。

A 観光客にアクションはできていないが、酒蔵やソース作りの体験工場、いちご狩りなど観光客が来ているという話は聞いている。

Q3 市内の産物は海外へ輸出されているという実績はあるか。

A 日本酒、ソース、鮮魚、納豆などを輸出している現状があると聞いている。やり取りをする中で、オリパラ後は特段インバウンドに力を入れていないことがわかりました。しかし、当時作成し在庫を抱えたままのマップなどを、市内ビジネスホテルや民泊、都内の観光コーナーなどに置いたり、市内観光業の方にご協力をいただいたりと、オリパラに向けて準備してきた実績を活用する方法はいくらでもあります。また、公が特定の民を大々的にサポートすることは難しいという先入観があったかと思いますが、これからの時代は公民連携が基礎となるため、しっかりと応援して既存事業者に成長して頂くことは、当市にとっても必要なことです。魅力は点在しているけれど、点と点が線になっていない為、ここを「公」がしっかりとつないでいく。その上で、東村山の魅力を最大限に引き出すには、当市にしかない「サステナブルな観光資源」に重点を置きマーケティングしていくことが大事だと考えます。



(上) 八坂神社創立100周年記念と約40年前の例大祭の写真
(下左) 大善院節分会にて地元出身の力士、羽出山関とご一緒させていただきました
(下中) 八坂自治会毎年恒例の餅つき
(下右) 6月1日に「のみむら」開催



物価高対応型予算に向けて

自民党選挙対策委員長 衆議院議員 **木原 誠二**

「新しい資本主義実行本部（岸田文雄本部長）」の幹事長として、物価高・インフレ対応型の政府、予算に変更するための制度改正に取り組んでいます。物価が下がり続けるデフレ時代は、税収も上がらず、借金の実質的な負担が増えるため、歳出を削って財布の帳尻を合わせるのが財務省の仕事でした。しかし、物価が上がるインフレ時代に入った今、税収も増えるなか、債務の実質負担も減ることを考えると、物価高にに応じて歳出も適切に増やしていくことが大切です。三つの柱で対応を進めていきます。

第一に、公共事業・公共調達を適正化すること。賃上げ動向や資材・部材価格の高騰などを適切に予定価格などに反映するとともに、最低制限価格制度や低入札価格調査制度を適切に運用するよう転換していきます。

第二に、予算や税制などの各種制度において数十年改訂されずに放置されてきた「閾値」や「基準値」の見直しです。一つの例ですが、企業が従業員の昼食代を補助する仕組みがあります。今はひと月あたり3500円で設定されていて、一日あたりだと170円程度ですが、それを超えると、税法上課税対象になってしまいます。この3500円の基準値は40年据え置かれていますが、これも物価に応じて上げないといけません。こうした基準値・閾値が至るところにあります。

第三に、医療・介護・保育などの公的価格の適正化。医療等の価格は、診療報酬制度などを通じて公的に決定されていて、価格転嫁もできません。このため、賃上げや物価高対応の原資が確保できず、医療機関などの経営は逼迫しています。こうした公的価格の適正化も重要です。

長く続いたデフレ型の予算から脱却してインフレ対応型の予算に転換していく。財源は限られていて何でもできるというわけではありませんので、全体を見て辛いところにまで手が届く改革を進めていきます。



PROFILE 木原 誠二

昭和45年6月8日生まれ
東京都出身
自民党選挙対策委員長
衆議院議員
財政・金融全般、安保・外交政策、社会保障・行革、都市農業など幅広く活動を展開



PROFILE 小林 みお

昭和57年生まれ 福岡県にて生まれる。5歳の時、東村山へ。美住幼稚園→八坂小学校→東村山第一中学校→都立田無高等学校→彰栄保育福祉専門学校卒。介護福祉士を取得し、社会福祉法人千曲会 健光園にて勤務。30歳を期に退職。今しかないという想いで地元東村山で仲間と久米川阿波踊り大会の復活に向け活動を始め。無事復活を果たし、仲間と東村山に感動する事をきっかけに市政に興味が出る事となる。平成27年東村山市議会議員選挙において初当選。現、東村山市議会議員3期目。令和7年4月武蔵野大学入学。都市整備委員会、生活文教委員会、広報広聴委員会、政策研究会、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員、東村山市社会福祉協議会 評議員、東村山防衛協会女性副部長、東村山サッカー協会会長、予算委員会副委員長、議会運営委員長など

議会インターネット配信の案内 **東村山市議会** **Q**
過去の議会の様子はインターネットからもご覧いただけます。

発行



小林 みお を支える
美緒つむぎの会

189-0013 東京都東村山市栄町 3-7-21 1階 Tel / Fax 042-306-1365
E-mail mio.tumuginokai@gmail.com http://www.kobayashi-mio.tokyo



小林みお 東村山 Q

